



小売業

RETAIL TRADE

小売業とは

小売業は、日本標準産業分類において、主として「個人用または家庭用消費のために商品を販売する事業所」および「建設業、農林水産業（法人組織）、製造業、運輸業、飲食店、宿泊業、病院、学校、官公庁等の産業用使用者に少量または少額に商品を販売する事業所」と定義されています。

次に掲げるものは小売業として分類されます。

- (1) 商品を販売し、かつ、同種商品の修理を行う事業所
なお、修理を専業としている事業所はサービス業に分類され、修理のために部分品などを取替えても販売とはみなしません。
- (2) 製造小売業
製造した商品をその場所で個人または家庭用消費者に販売する、いわゆる製造小売業は、小売業に分類されます。（例：菓子屋、パン屋等）
なお、製品を製造する事業所が店舗を持たず、通信販売により小売している場合は、製造業に分類されます。
- (3) ガソリンスタンド
- (4) 行商、旅商、露天商
これらは一定の事業所、恒久的な事業所を持たない場合がありますが、業務の性格上、小売業に分類されます。
- (5) 官公庁、会社、工場、団体、劇場、遊園地等の中にある売店で、当該事業所以外のものによって経営される場合。

許認可

例えば、中古自動車小売業の場合、古物営業法に基づく許可など、扱う品目によって許認可が必要となる場合があります。

point

！ 事業計画のポイント・留意点

「雑貨店」「中古車販売」の創業計画書例を掲載しています。

「雑貨店」の場合、明確なコンセプトとそのコンセプトに沿った商品の品揃えのための仕入ルートを確認することがポイントです。仕入のロットと支払サイトによっては運転資金が増大することに留意してください。

「中古車販売」の場合、ターゲットの絞込みによる差別化に加えて品質・アフターサービスなどの付加価値を高め競争を回避することがポイントです。顧客が求める車種を相場情報を踏まえて調達できるルートを複数確保することに留意してください。



小売業(雑貨店) 創業計画書例

小売業(雑貨店) 創業計画書例

顧客番号					-				
------	--	--	--	--	---	--	--	--	--

(創業関連保証・再挑戦支援保証用)

創業・再挑戦計画書

大阪信用保証協会 御中

令和
西暦 年 月 日
(どちらかに○印を付けてください)

創業関連保証・再挑戦支援保証の 申込みにあたり、以下のとおり創業・ 再挑戦計画を提出します。	〔申込人〕
	住 所
	会 社 名
	氏名または 代 表 者 名

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業・ 会社事業	商 号(個人) 会社名(会社)	
開業(予定)住所	電話 ()		
開業届出(個人) 設立登記(法人)	有 ・ 無	開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	令和 西暦 年 月 日
業 種	小売業(雑貨店)	資 本 金	(会社設立(予定)の場合) 100万 円
許 可 等 [許可等取得が必要な場合]	(種類) (許可・免許・登録・認証の別を記入)	(根拠法)	[取得すべき許可等の根拠法を記入((例)食品衛生法)]
従業員数	1	取 扱 品	日用品・文具等 仕 入 先 (株)○○商事 (株)○○ ほか
開業動機・目的	商社の経験を通じて海外のライフスタイルをもっと身近に感じてもらえる店を持ちたいとの思いが強くなった。 商社時代の取引先などからも共感を得ることができ、コンセプトに合った物件が見つかったため開業を 決意した。		
開業に必要な知識、 技術、ノウハウの習得	前職の商社および取引先など複数の仕入先、海外との取引経験、 10年の海外生活で得たライフスタイルや感性		
〔会社設立予定の場合〕 出資者・出資額	代表取締役○○○…100万円		
事業協力者の住所・ 氏名・勤務先			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

- ア 設備機械器具等発注済である。
イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ 商品・原材料の仕入を行っている。
オ 事業に必要な許認可を受けている。
カ 事業に必要な許認可取得未了(許認可取得見込み(申請状況や取得予定時期等)を具体的に記入してください。)
キ その他(具体的に記入して下さい)

3. 運転資金計画

名 称	金 額	積 算 内 訳
商品・材料等の仕入資金	1,200 千円	仕入 1 か月分
人 件 費 等	250 千円	人件費 1 か月分
そ の 他 の 資 金	350 千円	家賃、その他経費 1 か月分+予備費 80 千円
計	A 1,800 千円	

※「何か月分(を計画するか)」の決まりはありません。資金繰りを考慮して決めましょう。
※余裕を持たせる場合は、2か月分を計画しても良いでしょう。

4. 設備計画

区分	土地・建物	面 積	取得 方法	自己・新築 取得・賃貸	取得に要する資金	契約年月日	取得(完成) 年 月 日
事業用不動産	土 地	m ²			千円		
	建 物	40 m ²	賃貸 保証金		1,500 千円		
	計	B	(取得に要する資金)		1,500 千円		
区分	名 称	型式・能力	数 量	単 価	金 額	発 注 先	設置(完成) 年 月 日
機械器具・什器備品等	内外装工事費 備品	○○○ ○○○	○ ○	○○ ○○	1,300 千円 1,200 千円	○○○ ○○○	
	計	C	(金額)		2,500 千 円		

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

5. 今回の資金計画による必要資金合計

A+B+C= 5,800 千円 (D)

※「◆資金調達計画」の合計額(D)と一致させてください。

6. 資金調達計画

自己資金	預 金		預 金 以 外		
	預け先（金融機関本支店名等）	預金種別	金 額	種 類	金 額
	〇〇銀行〇〇支店	普通	2,000 千円	有価証券	千円
	〇〇信用組合〇〇支店	普通	300 千円	賃貸 保証金	1,500 千円
			千円	その他（具体的に） （	

(※) 今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

※年間返済額288千円
※借入金は利益で返済できるよう計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

7. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	13,416 千円	売上高	20,640 千円
外注工費	千円	工賃収入	
人件費	3,000 千円	雑収入	
その他費用	3,240 千円		
利益	984 千円		
計	20,640 千円	計	20,640 千円

売上の65%と設定

【客数・単価根拠より】
平日の売上
1,080千円/月
土日の売上
640千円/月
(×12か月)

※利益から借入金を返済します。初年度に十分利益が出ない場合は、2年後3年後の計画を考えることも重要です。

8. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年 20,640 千円	現金・カード	(株)〇〇商事	年 7,100 千円	月末締め 翌月〇日現金払
			(株)〇〇	年 3,550 千円	月末締め 翌月〇日現金払
			〇〇(株)	年 2,766 千円	月末締め 翌月〇日現金払

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

9. 借入金等状況(※)

借入先等	資金用途	借入残高	残存 返済期間	年間 返済額
〇〇銀行	住宅ローン	10,080 千円	120 ヶ月	1,008 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
(経営者本人が負担している保証債務も含まれます)。

■客数根拠

平日 客数60人×18日=1,080人
土日 客数80人×8日=640人
立地調査の結果、店舗前の1日あたり通行人数の2%、
購買率40%で試算
※類似店舗の調査結果を参考。

月合計 1,720人

■単価根拠

平均単価1,000円(平均500円×2点)
※原価率65%

役員報酬:200千円/月
人件費:パート50千円/月
家賃:150千円/月
その他経費:120千円/月
(通勤交通費30千円/月、光熱費40千円/月、
ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)

10. 自己資金算定額

自己資金等	種 類	明 細			金 額
	普 通 預 金	〇〇銀行〇〇支店 2,000千円 〇〇信用組合〇〇支店 300千円			2,300 千円
	定 期 性 預 金				
	有 価 証 券 等				
	入居保証金等	賃貸 保証金			1,500 千円
	設 備 充 当 等				
合 計					① 3,800 千円
借入金等	借 入 先	資金使途	残 存 返済期間	年 間 返済額	年間返済額の2年分 (2年以内のものは全額)
	〇〇銀行	住宅ローン	120 ヶ月	1,008 千円	2,016 千円
合 計					② 2,016 千円
自 己 資 金 額 (① - ②) =					③ 1,784 千円

11. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入ください)

店舗周辺は住宅街であり、主婦や学生など一定の需要が見込める。

海外との取引経験を活かし、日本製とは違った味わいをもつ商品の品揃えを充実させてリピーター確保に努めたい。

子育て世代も多いため、ハロウィンやクリスマスグッズなど季節商品にも力を入れる。



小売業(中古車販売) 創業計画書例

小売業(中古車販売) 創業計画書例

顧客番号					-				
------	--	--	--	--	---	--	--	--	--

(創業関連保証・再挑戦支援保証用)

創業・再挑戦計画書

大阪信用保証協会 御中

令和
西暦 年 月 日
(どちらかに○印を付けてください)

創業関連保証・再挑戦支援保証の 申込みにあたり、以下のとおり創業・ 再挑戦計画を提出します。	〔申込人〕
	住 所
	会 社 名
	氏名または 代 表 者 名

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業・ 会社事業	商 号(個人) 会社名(会社)	
開業(予定)住所	電話 ()		
開業届出(個人) 設立登記(法人)	有 ・ 無	開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	令和 西暦 年 月 日
業 種	中古車販売	資 本 金	(会社設立(予定)の場合) 300万 円
許 可 等 [許可等取得が必要な場合]	(種類) 古物営業許可 (許可・免許・登録・認証の別を記入)	(根拠法)	古物営業法 [取得すべき許可等の根拠法を記入((例)食品衛生法)]
従業員数	1	取 扱 品	中古車・中古パーツ
		仕 入 先	(株)○○ ○○モーター(株) ほか
開業動機・目的	15年にわたり中古車(クラシックカー含む。)販売および自動車の整備に従事し、業界の知識・経験に加えて仕入先や連携先などの人脈を構築してきた。 ロードサイドの好立地の物件が確保できたため、長年の夢であった日本のクラシックカーに特化した店を開きたいと決意した。		
開業に必要な知識、 技術、ノウハウの習得	15年にわたり中古車販売業に従事し、業界の知識・経験に加えて仕入先や連携先などの人脈を得た。 1級自動車整備士資格。		
〔会社設立予定の場合〕 出資者・出資額	代表取締役○○○…300万円		
事業協力者の住所・ 氏名・勤務先			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

- ア 設備機械器具等発注済である。
イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ 商品・原材料の仕入を行っている。
オ 事業に必要な許認可を受けている。
カ 事業に必要な許認可取得未了(許認可取得見込み(申請状況や取得予定時期等)を具体的に記入してください。)
(古物営業許可については、現在申請中です。)
キ その他(具体的に記入して下さい)

3. 運転資金計画

名 称	金 額	積 算 内 訳
商品・材料等の仕入資金	4,000 千円	5台分の仕入資金(@ 800千円)
人 件 費 等	800 千円	人件費2か月分
そ の 他 の 資 金	700 千円	家賃、その他経費2か月分+予備費40千円
計	A 5,500 千円	

4. 設備計画

区分	土地・建物	面 積	取得 方法	〔自己・新築 取得・賃貸〕	取得に要する資金	契約年月日	取得(完成) 年 月 日
事業用不動産	土 地	m ²			千円		
	建 物	80 m ²	賃貸 保証金		2,000 千円		
	計		B (取得に要する資金)		2,000 千円		
区分	名 称	型式・能力	数 量	単 価	金 額	発 注 先	設置(完成) 年 月 日
機械器具・什器備品等	内外装工事費 設備 備品	○○○ ○○○ ○○○	○ ○ ○	○○ ○○ ○○	1,000 千円 3,000 千円 500 千円	○○○ ○○○ ○○○	
	計		C (金額)		4,500 千 円		

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

※本計画では、注文を受けてから車を仕入れますが、展示場を設ける場合は、土地も必要となります。

5. 今回の資金計画による必要資金合計

A+B+C= 12,000 千円 (D)

※「◆資金調達計画」の合計額(D)と一致させてください。

6. 資金調達計画

自己資金	預 金		預 金 以 外		
	預け先（金融機関本支店名等）	預金種別	金 額	種 類	金 額
	〇〇信用金庫〇〇支店	普通	600 千円	有価証券	千円
	〇〇信用金庫〇〇支店	定期	1,400 千円	賃貸 保証金	2,000 千円
			千円	その他（具体的に） （ ）	千円
			千円		
自 己 資 金 合 計		4,000 千円			
借入金等（※）	借 入 先	年利	借 入 額	毎月返済額	借入期間
	今回の借入額	〇.〇%	8,000 千円	95 千円	'22.〇.〇～'29.〇.〇
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
	借 入 金 等 合 計		8,000 千円	調達資金 合計	D 12,000 千円

※年間返済額1,140千円
※借入金は利益で返済できるよう計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

(※) 今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

7. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	29,550 千円	売上高	40,500 千円
外注工費	千円	工賃収入	
人件費	4,800 千円	雑収入	
その他費用	3,960 千円		
利益	2,190 千円		
計	40,500 千円	計	40,500 千円

8. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年 30,200 千円	現金	(株)〇〇	年 16,300 千円	月末締め 翌月〇日現金払
〇〇(株)	年 10,300 千円	現金	〇〇モーター(株)	年 8,050 千円	15日締め 翌月〇日現金払
			ネットオークション	年 5,200 千円	現金

9. 借入金等状況(※)

借入先等	資金用途	借入残高	残存 返済期間	年間 返済額
〇〇信用組合	住宅ローン	15,000 千円	150 ヶ月	1,200 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
(経営者本人が負担している保証債務も含みます)。

【単価・売上根拠より】
中古自動車
24,800千円
中古パーツ
4,750千円

【単価・売上根拠より】
中古自動車
31,000千円
中古パーツ
9,500千円

※借入金の年間返済額1,140千円を上回る計画額です。

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

■単価根拠

- 中古自動車販売(当社で修理後販売)
1台100万円 ※取扱い製品の相場から 原価率80%
- 中古パーツ販売
1件10万円 ※取扱い製品の相場から 原価率50%

■売上根拠

- 中古自動車販売
月2台 ※前職実績は平均月5台
- 中古パーツ販売
月5件 ※前職実績は平均月10件
※認知度向上と紹介などで6か月目より売上増加
中古自動車販売は月3台/中古パーツ販売は、月7件
(以降毎月1件ずつ増)で試算
役員報酬:300千円/月
人件費:100千円/月
家賃:200千円/月
その他経費:130千円/月
(通勤交通費15千円/月、光熱費50千円/月、
ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)

10. 自己資金算定額

自己資金等	種類	明細			金額
	普通預金	〇〇信用金庫〇〇支店 600 千円 〇〇信用組合〇〇支店 1,400 千円			2,000 千円
	定期性預金	〇〇信用金庫〇〇支店			1,400 千円
	有価証券等				
	入居保証金等	賃貸保証金			2,000 千円
	設備充当等				
	合 計				① 5,400 千円
借入金等	借入先	資金使途	残 存 返済期間	年 間 返済額	年間返済額の2年分 (2年以内のものは全額)
	〇〇信用組合	住宅ローン	150 ヶ月	1,200 千円	2,400 千円
	合 計				② 2,400 千円
自 己 資 金 額 (① - ②) =					③ 3,000 千円

11. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入ください)

- 15年間で培った人脈を活かし、営業に力を入れたい。
- 好立地な店舗であり、広告などにより来店者数の増加を目指す。
- 日本のクラシックカーの魅力を広めるため、イベントにも積極的に参加し、新規顧客獲得に繋げたい。